

— 西南学院大学 —

2月6日 神・経済学部 英語

解答

I

- (a) 3 (b) 1 (c) 4 (d) 3 (e) 1
(f) 3 (g) 2 (h) 1 (i) 3 (j) 4
(k) 2 (l) 3

II

問 A

14 18 19 21

問 B

(c) 1 (d) 1 (f) 3 (h) 2

問 C

(a) 3 (b) 1 (e) 2 (g) 4

III

(a) 2 (b) 4 (c) 3 (d) 3

IV

- (a) shoes → shoe
(b) damage → damaging
(c) incredible → incredibly

V

(a) as (b) must (c) arrive (d) in

VI

(a) anymore (b) on (c) stop (d) sense (e) Without

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！**増田塾 2019 解答速報ホームページ** 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

解 説

I

- (a) 3 ~so that SV 「SVするように～」
- (b) 1 deny は第4文型で用いることができ、deny A B で「AにBを与えない」という意味。本問はそれが受け身になったもので「Gibbは登録番号が与えられなかった」という意味になる。
- (c) 4 very は形容詞として名詞を強調し、「まさしくその、本当の」といった意味としても使える。
- (d) 3 take place 「起こる、生じる」
- (e) 1 be able to V 「Vすることができる」
- (f) 3 forbid O from Ving 「OがVすることを禁止する」
- (g) 2 期間+later 「～後」
- (h) 1 admit～ 「～を認める、許可する」
- (i) 3 desperately 「必死になって」 negatively 「否定的に、消極的に」
officially 「正式に」 variously 「さまざまに」
- (j) 4 ever since 「それ以来」
- (k) 2 approach～ 「～に近づく」
- (l) 3 at least 「少なくとも」

II

問 A 14 18 19 21

- 11 difficult が誤り。第1段落第2～3文から silverback gorillas は他のゴリラとは異なる見た目であることが分かる。
- 12 at the same rate 「同じ割合で」が誤り。第2段落第1文に反している。

- 13 選択肢は in Europe and North America となっているが、第 2 段落第 4 文には outside Europe and North America とある。
- 14 第 2 段落最終文に合致している。
- 15 greater が誤り。第 3 段落第 3 文に反している。
- 16 選択肢は「CEO が言ったことが、どのように聞こえたかということより重要だと判断された」という趣旨だが、第 4 段落第 2～3 文に「話の内容ではなく声の質で評価が決まった」という逆の趣旨の記載がある。
- 17 sound confident 「自信があるように聞こえる」が誤り。第 4 段落第 5 文に sound uncertain and childish 「不確かで子供っぽく聞こえる」とある。
- 18 第 4 段落第 6～7 文に合致している。
- 19 第 5 段落第 2 文に合致している。
- 20 without conforming to the “gorilla” stereotype 「“ゴリラの”ステレオタイプに一致することなく」が誤り。第 7 段落第 2 文に we just accept the stereotypes 「そのステレオタイプを受け入れる」という逆の趣旨の記載がある。
- 21 第 7 段落第 5～7 文に合致している。
- 22 minimal effort 「最小限の努力」が誤り。第 9 段落第 1 文に requires a lot of hard work and time 「かなりの労力と時間を要する」という逆の趣旨の記載がある。

問 B

- (c) 1 下線部は「トップをとるための競争」という意味だが、ビジネスのことなので
選択肢 1 「成功すること」が最も近い。
- (d) 1 rule out～ 「～を除外する」 eliminate～ 「～を除く」
- (f) 3 merit 「長所、功績」
- (h) 2 out of～ 「～から」

問 C

- (a) 3 spread themselves out behind their large desks は「自分のデスクの後ろでゆったりかまえて
いる(それだけスペースをとっている)」くらいの意味である。
- (b) 1 conform to～「～に一致する」 match～「～に匹敵する」
in conflict with～「～と対立して」
- (e) 2 set aside～「～を無視する、放棄する、取っておく」
- (g) 4 project～「～を提示する、投影する、計画する」

III

- (a) 2 as far as S know 「S が知っている限り」
- (b) 4 Her car broke down. の her が所有格の関係代名詞 whose になったもの。
- (c) 3 count on～「～に頼る」
- (d) 3 空所直後の Japanese とセットになるものを選ぶ。how much Japanese とすると「どれくらい
たくさんの日本語を話したか」という意味になる。well の場合、You spoke Japanese well. が
元の文として想定されるので、how を伴うと How well did you speak Japanese? といった形に
なるはずである。

IV

- (a) shoes → shoe
shoe shop 「靴屋」
- (b) damage → damaging
for という前置詞の後なので動名詞にする。
- (c) incredible → incredibly
convincing 「説得力がある」という形容詞を修飾しているので副詞にする。

V

(a) as

is seen as a refuge from

see A as B 「A を B とみなす」が受け身になったもの。

(b) must

I must have dropped it somewhere

must have + 過去分詞 「～したに違いない」

(c) arrive

we should arrive at the airport two hours

arrive at(in)～ 「～に到着する」 = get to～ = reach～

(d) in

for the first time in thirteen

for the first time in～ 「～ぶりに」

VI

(a) anymore

not + anymore 「もはや～ない」

(b) on

on television 「テレビで」

(c) stop

stop Ving 「V することをやめる」

(d) sense

make sense 「理に適う、意味をなす」

(e) Without

without～ 「～がなければ」

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！**増田塾 2019 解答速報ホームページ** 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！